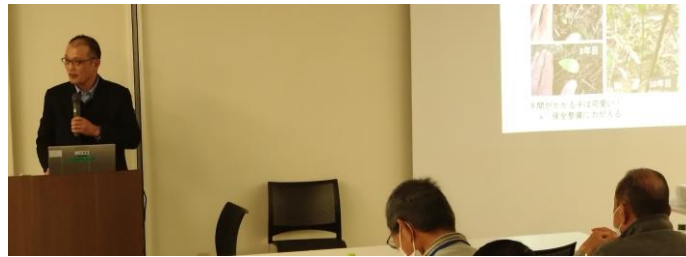


基礎講座 『山門水源の森』

～この森から3つの特徴と その保全～
(富岡 明先生)



?はて? 長年 滋賀県に住んでいて 山門水源の森はどこにあるの?

奥びわ湖・山門水源の森 ～この森の3つの特徴と、その保全～

富岡 明 (55歳)

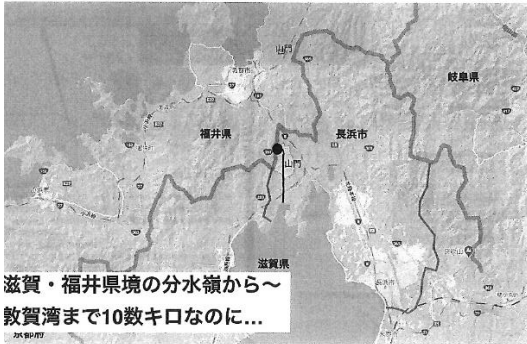


- この森の場所 位置的な特徴
- この森の三つの特徴
- この森の歴史
4万年前～現在まで

- 2012年 山門水源の森の常駐の雑務員となる (現在まで1年契約の再更新)
- 2013年 山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会理事
- 2014年 狩猟免許取得
- 2016年 「野生生物と社会」学会入会
- 2017年 長浜市の有害捕獲認定組織に入会
- 2017、8年 岐阜女子大に選い、博物館学芸員の資格
- 2019年～放送大学の生物系科目を受講して知識を更新中
- 現在に至る

この森の場所 位置的な特徴

1. 大、海との繋がり



滋賀・福井県境の分水嶺から～
敦賀湾まで10数キロなのに...

この森の場所 位置的な特徴

1. 大阪湾との繋がり

福井県境の分水嶺から、琵琶湖淀川水系の一部となり、
1,400万人の飲料水として利用されている。
(パンフ外側)

生活・生産・防災に関わる水。

水を守ることは森の健康を守ることなので、
本来はもう少し森林の健康状態に関心を持つべきでしょう。



この森の場所 位置的な特徴

2. バイオーム
変化は

バイオームの違いがわかりやすく
観察できる

中央分水嶺（日本列島の背骨）が
通っている

バイオームとは → 気候によって分けられた生態系に含まれる生物の集団のこと

3 日本のバイオーム

日本でも各地域の気候に応じてさまざまなバイオームがみられる。

1 水平分布と垂直分布
緯度の違いに伴う気候の変化によってバイオームの分布は、**水平分布**と呼ばれる。これに対して、標高の違いに伴う気候の変化に対応したバイオームの分布は、**垂直分布**と呼ばれる。

2 水平分布
日本列島は、南北に長く約3000kmにも及ぶため、気候の帯域から北緯30度北緯45度のほぼ等緯度までの気候が存在する。日本では、御水嶺がちょうどあるため、森林が形成され、バイオームの分布は主に気候の違いによって決まる(図1)。

山門水源の森

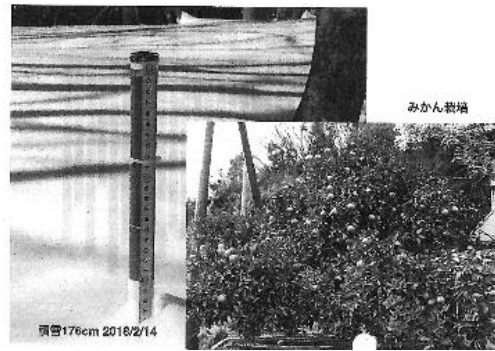
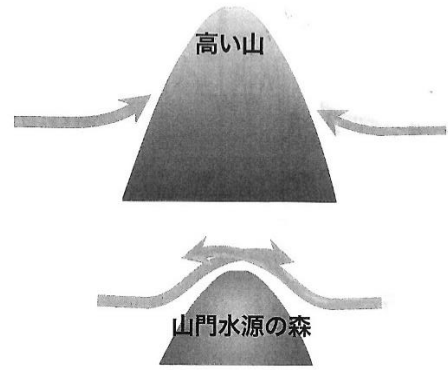
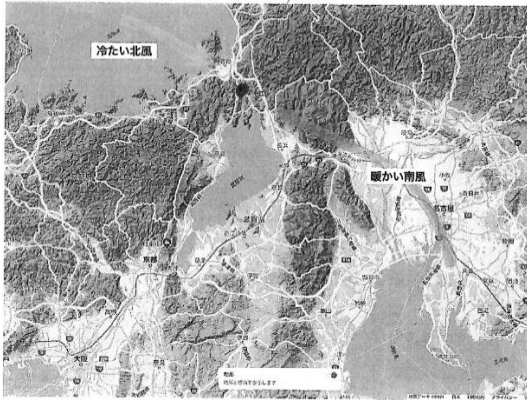
山門水源の森は、山門水源の森の自然環境を保全し、水質を浄化する役割を果たしている。また、この地域の自然環境は、山門水源の森の自然環境を保全し、水質を浄化する役割を果たしている。

北海道の寒冷地帯では、針葉樹林が主要なバイオームの一つである。また、北緯30度北緯45度のほぼ等緯度までの気候が存在する。日本では、御水嶺がちょうどあるため、森林が形成され、バイオームの分布は主に気候の違いによって決まる(図1)。

山門水源の森は、山門水源の森の自然環境を保全し、水質を浄化する役割を果たしている。また、この地域の自然環境は、山門水源の森の自然環境を保全し、水質を浄化する役割を果たしている。

山門水源の森は、山門水源の森の自然環境を保全し、水質を浄化する役割を果たしている。また、この地域の自然環境は、山門水源の森の自然環境を保全し、水質を浄化する役割を果たしている。

この山門水源の森の場所は、位置的(地理)な特徴があり、バイオームの違いが分かりやすく観察できる。



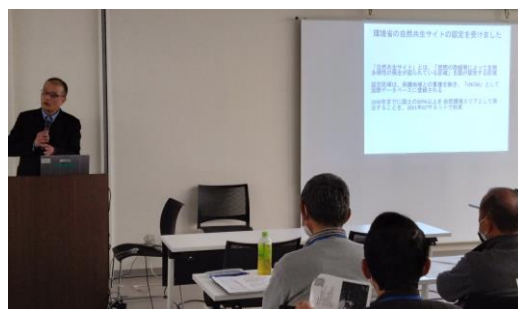
この場所は、176cm積雪がある一方みかん栽培ができる

この森の場所 位置的な特徴

まとめ

滋賀県の北端で、近畿地方の北端に位置しているが、中央分水嶺の南側に接しているため、降った雨は大阪湾に流れている

気温、降水量、地形などの環境から、涼しい地域の植生(夏緑樹林)と暖かい地域の植生(照葉樹林)の境目になっていて、しかも近接している(混じっている)



この森の歴史

5. この森のこれから

- 綺麗な水、酸素を作る
- 二酸化炭素を溜める (温暖化防止)
- いろんな生命を育む (生物多様性)
- 暮らしに必要な材料を生み出す (木材など)
- 心と体を健康にする (森に入る楽しみ)
- 災害を防ぐ (土壌の水を溜める機能)

森林からの恵み



タダで手に入るものは価値が分かりにくく、大事にしにくい。
直接暮らしに関係ないので、関心を持たれにくい。



様々な方面のたくさんの方に関心を持ってもらい、できることを、それぞれの立場で関わってほしい。いかに山門水源の森を、次の世代に引継いでいくかが課題と、富岡先生のことばで講義は終了しました。

※「山門水源の森」ホームページを参照願います。

(T.O)